

CRESSI

SINCE 1946



CARTESIO/ NEON GOA

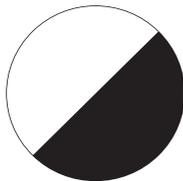
ユーザーマニュアル

長寿命



バッテリー

ハイコントラスト



ディスプレイ

広直径



ディスプレイ画面

すぐに呼び出せる



メニュー

マルチモード

AIR
EAN
GAGE
FREE

CressiはあなたにGOA/CARTESIO/NEONスキューバ・ダイビング腕時計-コンピュータの購入についてお祝いのことばを述べます。そして、あなたがいつでも最大効率、安全と信頼性に頼れるように特別にデザインされています。

時計の主な特長

- ・分と秒による12/24回フォーマット。
- ・カレンダー。
- ・精密なストップウォッチ。
- ・第2の時間セッティング。
- ・目ざまし機能。

スクワダイビングコンピュータ

- ・ CRESSI RGBMアルゴリズム。ブルースWienkeとのCressiの協同の持って行かれる新しいアルゴリズムは、ホールデーモン・モデルに基づいて、度重なるマルチ日潜水において安全な減圧計算のためにRGBM要因を使います。
- ・ 組織：2.5～480分の飽和ハーフタイムによる9。
- ・ 「ダイビング」プログラム：適用できるように、AirとEAN (Air Nitroxを強化しました)ダイビングごとに、すべてのダイビング・データと減圧データも処理しているプロセッサは作りしました。
- ・ 2つの異なるNitroxを使うという可能性は、同じダイビング (CARTESIO/NEONだけ)の間、選択可能な混合物にハイパー酸素を与えました。
- ・ 酸素パーセンテージ(%O2)と酸素分圧(PO2)パラメータの、1.2本のバーと1.6本のバーの間のPO2と最初の混合物のための21%と50%の間の%O2をセットするという可能性による、そして、第2 (CARTESIO/NEONだけ)のための21%と99%の間の完全なセッティング。

- ・ Nitroxを空気(進行中の不飽和化と同じ)とともにダイビングの後飛び込ませるという可能性。
- ・ 深度停止機能をオン/オフするという可能性。
- ・ **GAGE** 減圧計算と再設定可能な深さのないダイビングのための機能。
- ・ **FREE** アラーム停止機能を備えたフリーダイブ機能。
- ・ 完全な理解のための「PCD System」による表示と価格の読みやすさ。
- ・ ユーザーによるバッテリー交換。
- ・ 安全カーブを手動にスクロールすることによるダイビング計画。
- ・ 単位を変える可能性、メートル法から(メートル - °C)ヤードポンド法(フィート-°F)に。
- ・ 音響と視覚での警報。
- ・ 酸素のCNS毒性濃度のグラフィック指標。
- ・ 高効率、表示をバックライトで照らしました。
- ・ タイプ毎に最高50ダイブまで保存可能なログブック。
- ・ ダイビング履歴記憶装置。
- ・ 不飽和化をリセットする可能性 - 賃借目的に有用。
- ・ 一般的なデータとダイビング・プロフィール(オプション)によるPC/マック・インターフェース。

一般的警告及び安全基準

重要: 指示をお読みください。安全規則についての項も含めて、慎重にこのユーザー・マニュアルをお読みください。機器をご使用になる前に、機能及び制約をご理解ください! 最初にこの小冊子全体を読むこと無しには、絶対に機器を使用しないでください!

重要: この器具は、ダイビングの補助ツールとお考えください: これは、ダイビング・テーブル使用に置き換わります。

△危険: ダイビング・コンピュータは、減圧病(DCS) (閏) に対して、全額保護を提供することができません。

ダイビング・コンピュータがDCSリスクを全く除外することができない事をはっきりと認識しなければなりません。

そのような状況が毎日、それに応じて変化を被るかもしれないので、慎重な健康診断を受けることが望ましいという各々のスキューバダイバーの身体的な状況を、コンピュータは、実際、考慮することができません、いかなる活動も行う前に、そして、あなたはどんなダイビングの前にでもフィットネスを評価しなければなりません。

DCSのより大きな危険性につながっている状況が寒天(10°C以下の温度)、非最適体調、数日の間実行される度重なるダイビング、疲労、アルコール飲料の消費、薬または薬物(脱水)も含む可能性があることを心にとめておいてください。そのような状況を避けること、そしてあなたを危険にさらすような条件を回避することは良い行いです:

各々の人は、彼(女)の安全に対する責任を負わなければなりません!

重要: コンピュータが広範囲な水中のトレーニングに代わることはできないので、この機器は免許を受けたスキューバダイバーだけに使用されねばなりません。ダイビングの間の安全が適切なトレーニングによってのみ確保されることを肝に銘じてください。

重要: DCSリスクが確実に増加する長時間の潜水を必要とする職業上の用途のためにはなく、CRESSIのGOA/CAR-TESIO/NEONコンピュータは、単にアマチュア・スポーツ用途だけのために設計されました。

重要: コンピュータを使う前に、事前チェックを行ってください: バッテリー充電と表示指示の状態をチェックしてください。もし表示画面が不明瞭であったり色あせたように見えるならば、そして、とりわけ、「バッテリー残量低下」のアイコンが表示された場合はダイビングは中止してください。

重要: ダイビングのとき、あなたは深度ゲージ、圧力計、タイマーまたは腕時計、及び減圧テーブルも持って来なければなりません。シリンダーの圧力が、予定しているダイビングに相応しいことを確認してください、圧力計によって頻繁にシリンダーで空気の量をチェックしてください。

△危険: 最初に正しい高度レベルを決めずに、高い高度で飛び込まないでください。表示画面の高度をチェックしてください。海抜9842フィート以上 上の高度の潜水がDCS危険度を高めることになるのを忘れないでください。

重要: この器具の使用は、厳密に個人的使用です; ダイビングまたは一連のダイビングの間、実際、それを使った人だけに、供給される情報は適用されます。

△危険: CRESSIは、減圧ダイビングにおいてこの機器を使うことを勧めません。しかし、いずれにせよあなたが減圧限度を超過せざるを得ないのであれば、あなたのGOA/CAR-TESIO/NEONコンピュータは減圧、表面材と相対的な表面の間隔時間に関するすべての必要な情報を提供することができますでしょう。

重要: 最初に個人的にそれらの内容と酸素パーセンテージ(%O₂)をチェックせずにNITROX混合物を含むシリンダーでダイビングしないでください。

それから、減圧計算をできるように、あなたのコンピュータに混合物値をセットしてください。コンピュータは最も近い整数にまるめられる%O₂値だけを扱うことにご留意ください。

重要: 潜水の前に、常に、あなたのコンピュータでパラメータ・セッティングをチェックしてください。

△危険: GOA/CARTESIO/NEONは、あなたが最後に設定した酸素パーセンテージを常に保持します。ダイビングの前に、このパラメータを検証することは、安全を確保するために不可欠です。

△危険: 最初にこの種のダイビングに関して特定のコースを完了せずにNITROXのダイビングをしないよう、CRESSIは忠告します。実際、NITROXダイビングは、ダイバーをエアダイブに関連する危険とは違う危険にさらす可能性があります、そして、それは重度の身体的な怪我と、極端な場合、死さえ引き起こす可能性があります。

△危険: ゴア/CARTESIO/NEONコンピュータは、大事をとって、エアダイビングの場合でさえ、メーカーによってセットされるPO₂パラメータ値が1.4バールです。さらに安全性のマージンを増やすことが必要ならば、0.1バール毎の漸減で、1.2バールまで値を下げるために、このパラメータをセットすることができます。

重要: GAGEモード(深さゲージ・タイマー)で、GOA/CARTESIO/NEONでなされるダイビングの後、機器は次の48時間飽和と不飽和化計算を実行しません。

重要: 如何なる種類の高リスクプロファイル・ダイビングをも避けてください、例えば「ヨーヨー」または逆のプロファイルダイビングのようなもの、或いは、日に複数回のダイビングを

数日続けて行うことですが、それらは危険である可能性があり、DCSのより大きなリスクを伴う場合があります！

重要: 現時点では、確認された科学文献では、DCSリスクを伴うことなく1、2週の期間の間1日につき2回以上のダイビングをするのを許しません。それゆえに、あなたは1日につき2回というダイビングの回数制限を上回るべきではありません。1回のダイビングと次の間で少なくとも2時間の活動休止期をとることも、望ましいです。

重要: あなたがDCS(減圧病)のリスクを増大し得る如何なる要因をも認識するときはいつでも、より安全なダイビングのために、最も保守的な安全係数(SF1とSF2)を選んで、セットしてください。

注記: 飛行機のフライトでは、与圧したキャビンに機器をあなたが自分で一緒に携えてお乗りください。

注記: 安全カーブの中で、そして、40M(スポーツ・ダイビングのための制限深さです)の最大深さに、スポーツ・ダイビングが常になされなければならないことを、CRESSIは強調します。大いにこれらの限度を上回るとは、DCSの危険性を増します。

フリーダイビング (APNEA DIVES)

重要: フリーダイビングのとき、事故を避けるべく、理性的に、そして、用心深く、理論的で実際的な知識を利用する人の能力次第で安全は確保されます。それゆえに、完全にこの活動に伴う危険に気づいている人が使用するに当たり、この機器は、フリーダイビングの補助であると考えられなければなりません。慎重な理論的で実際的なトレーニングの後だけ、それは使われなければなりません、技術及びフリーダイビングに関連する危険に関してのみ、排他的に使われるべきです。

△ 危険: ダイビングコンピュータは失神またはTARAVANA症候群のリスクを除外するために設計できない、或いはされていないことは明確に理解されねばなりません。実際、コンピュータができる全ての事は、表面、深度と潜水時間の表示を提供することです。スキューバダイバーに供給される情報は有用なデータと考えられていなければなりません。そして、その情報は人間の心によって評価され処理されることに基いてはじめて安全情報になる可能性があるのです。したがって、徹底した且つ理論的なトレーニングがたいへん推奨されます。

重要: コンピュータは広範囲な水中のトレーニングに代わることはできません、この機器は有資格のスキューバダイバーだけに限り使用されなければなりません。仮死潜水の安全は適切なトレーニングによって確実にされるだけのことを心にとめておいてください。

重要: プロユースのためにはなく、CRESSIのGOA/CAR-TESIO/NEONコンピュータは、アマチュア・スポーツ用途のためにだけ設計されました。

重要: DEL画面上であなたのコンピュータ、チェック・バッテリー充電と表示の状態を利用する前に、事前チェックをしてください。表示がはっきりしない或いは薄れた表示ならば、ダイビングは中止して下さい、特に「バッテリー残量低」アイコンが画面上に表示される場合は中止して下さい。

△ 危険: 飛行機に乗る、或いは高地滞在する前に、あなたが過去48時間の間に重度の無呼吸状態にならなかった事を確認してください。

重要: ダイビングの前にあなたのコンピュータでパラメータのセッティングをチェックしてください。

重要: 深いスキューバダイビングは危険な訓練です、そして、完全な安全で行われるために、それは広範囲な実際ので理論的なトレーニングを必要とします。それゆえに、公認のダイビング・スクールからスキューバダイビング証明を得ることが大切です。いずれにしても、その人の個人の限界に気づいていて、そのような限度の範囲内でよくこの規律に係わることは、重要です。必要ならば、決して単独でダイビングしないで下さい、もし必要であれば

重要: 現時点では、TARAVANA症候群の原因の完全な説明を提供している確認された科学文献がありません。それゆえに、あなたの健康のために、あなたが短時間のみの水面でのインターバルを取るだけで続けて何時間も深いダイビングをしないこと、完全に健康な状態でないならばダイビングをしないことは、重要です。常に、定期的なカロリー摂取で、よくあなたの体を十分に水分補給しておいてください。

注記: 飛行機のフライトでは、与圧したキャビンに機器をあなたが自分で一緒に携えてお乗りください。

Cressiは断わりなく手段の変更をする権利を保有します。そして、その構成要素の絶え間ない技術的アップグレードに基づきます。

前書き

CressiによるGOA/CARTESIO/NEON腕時計-コンピュータは、非常に先進の娯楽用の機器で、深度、ダイビング時間、減圧ニーズ、浮上率、及びダイビングとその次回(AIRとNITROX)の水面休息間隔に関するすべての必要な情報を供給することができます。

窒素吸収とリリースは非常に高度なソフトウェアによって連続的にモニターされます。そして、使用される様々な混合物に含まれる不活性ガスの量に合わせます。

PCDシステム(Priority Compartment Digit Display)、それはダイバーとコンピュータの間で単純で直接の「対話」を許します、のおかげでコンピュータ画面に、この情報は、どんな使用状況でも常に完全な理解に必要なすべてのデータと最適な読みやすさの表示を保証します。

コンピュータは腕時計、ストップウォッチとカレンダーを備えていて、用途が広いダイビング・メモリ(ログブック)を備えています。空気で、または、ハイパー酸素を含ませた混合物(Nitrox)でなされるダイビングのために、GOA/CARTESIO/NEONの数学モデルは、飽和と不飽和化計算を実行することができます。

後者の場合、あなたはすべてのパラメータを使われる混合物に設定することができます:認められる最大限から、混合物(%O₂)で、21%と50%(GAS1)の間での、そして、21%と99%(GAS2)(CARTESIO/NEONだけ)の間で酸素にPO₂(1.2バールと1.6バールの間での)のパーセンテージを評価してください。

さらに、機器はユーザーによってどちらのメートル単位系でも設定することができます、即ち(m・°C)または帝国単位(フィート・°F)です。

GOA/CARTESIO/NEON腕時計-コンピュータは、Cressiの特別インターフェース(アクセサリ)と相対的なソフトウェア(アクセサリ)によってパソコンに接続することができます。

慎重にこのユーザー・マニュアルを読んで、ここに含まれる指示の正確な理解を得ることは非常に重要です、さもなければ、人の健康は危険にさらされる、或いは、ひどく損害を受けさえする可能性があります。ダイビングにおいてそれを使う前に、このマニュアルの狙いは、ユーザーがコンピュータのすべての機能を理解するお手伝いをすることです。CressiによるGOA/CARTESIO/NEON腕時計-コンピュータは常に腕時計モードで作動中です、そして、それが故意に妨げられない限り、あなたがDIVEページに達するまで、UP ▲ /DOWN ▼ ボタンによってメニューをスクロールすることによって、ダイビング・コンピュータ・モードが起動する可能性があります。

ダイビングの際に、ダイビング・モードは-1.2m以上の深さで自動的に起動します。

コンピューター管理

GOA/CARTESIO/NEONは、ユーザーフレンドリーな多平面循環メニュー(読みやすさ改善のため全ての大文字)を備えています。

ボタンの機能

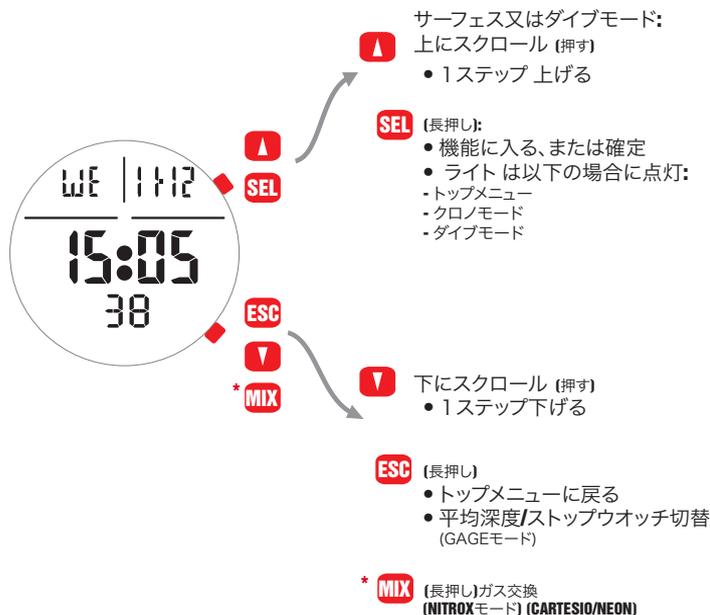
UP ボタン ▲ / SEL: 短く押される場合、いろいろなメニューをスクロールし、パラメータを付加されるモードでセットすることができます。ボタンを押し続けるならば、いろいろなメニューに入っていくことができ、変更実施を確認できます。

あなたがこのボタンを押し、そのまま2、3秒間押し続けると、ストップウォッチまたはダイビング・モードでは、バックライトはオンになります。

DOWN ボタン ▼ / ESC: 短く押されるとき、このボタンはいろいろなメニューをスクロールし、パラメータを減衰モードでセットします。あなたがそれを押し続けると、いろいろなメニューから抜け出すことができます。

NITROX ダイブモードのまま長い時間押し続けると、このボタンで、あなたはGAS1/GAS2変更 (CARTESIO/NEONだけ) ができます。ゲージモードで押しすと、

GAGE 深度ストップウォッチ・モードへのアクセスが許可されます。



トップ メニュー

標準的な画面では、腕時計は数字で時間と日付を示します: ポスト・ダイビング・モードでは、日付は波、飛行時間無しに置き換えられます。しかしUP ▲ ボタンを押すことによって、日付を見ることは依然可能です。

もしもう一つのタイムゾーン (WORLD機能) を加えたい場合は可能であり、秒の代わりに希望のタイムゾーンを見ることができます。



メイン メニュー

トップスクリーンから、up ▲ / down ▼ ボタン を使うことで、メイン・メニューの画面をスクロールすることができます。

CHROMO → MODE-S → LOG → DIVE-S → TIME-S → PLAN → SYSTEM → DIVE

ボタンを押すことにより **SEL** あなたは関連の機能にアクセスできるでしょう。

クロノ(ストップウォッチ)



↓SEL ↑ESC

この画面から、押す **SEL** 機能にアクセスする [CHRONO]



ストップウォッチを オン及びオフにするには、UP ▲
リセット (ストップウォッチはオフ) するためには、DOWN ▼ ボタンを
押します ▼

表示の最初の線はCHROを読み込みます、センターラインは現在の
時刻を示します、そして、最後のラインはストップウォッチ・デー
タを示します。

最初の10分の間に、分、秒、10分の1秒が示されます。

24時間後、ストップウォッチはリセットされます

クロノ機能 [CHRONO] から退出するとき、次にリセットするまでデ
ータは保管されます。退出するためには **ESC**

モード-S (モード-セット)

機能により希望のダイビングモードを選択できます。

MODE-5機能にアクセス するためには、 ボタンを押して下
さい

一番目のラインは SETであり、操作時選択のモード(点滅)を表示
します。

UP ▲/DOWN ▼ ボタンによって様々なモードを選択できます。

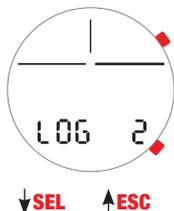
- ・ エアダイビングのためのエア
- ・ 豊かなエア(空気Nitroxを強化)によるダイビングのための
EAN。
- ・ 仮死ダイビングのためのFREE
- ・ 深度ゲージ/深度ストップウォッチ機能のためのゲージ
- ・ 圧力センサー(プールで泳ぐとき、または、あなたのコンピュー
タがダイビングを記録することを望まないとき)をオフにする
OFF(パッドロック南京錠 )。

あなたが確認ビープ音を聞くまで、**SEL** ボタンを押すことによっ
て、望ましいモードを確かめてください。

△ 警告: ダイビング・コンピュータがOFFのとき、各々のダイ
ビングの前にそれを可動にすることが重要です。安全目的の
ために、実際、コンピュータはダイビングの間、ブロックされま
す、そして、それは水面に戻って、水から上げることによって許
可されるだけです。一旦使用可能となるならば、コンピュータ
はその時まで経過した時間を考慮しません。従ってあなたが
すぐにダイビングしないで、完全な不飽和化のために24時間
待つことを、我々はお勧めします。

ログ

この画面から、ログボタンを押してダイビング **SEL** ングにアクセスします。



GOA/CARTESIO/NEONのメモリにおいて、各々のタイプの最高50のダイビングを記録することができます。安全係数 SF (0/1/2) マックス 深さ 平均深度 臨時 相対的な圧力と温度データで。(空気の/eanのないゲージ) 50回のダイビング後、最も古いものは次第に削除されます。最も古いものに最新のものから、ダイビング順に数えられます。注：ログブックはリセットできません。

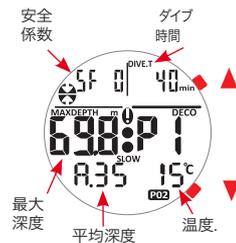


最初の線は、ダイビングの日、月と年を示します。NITROX フリーゲージモデルのダイビングでは関連アイコンが表示されます。ボタンを押すことにより、**SEL** ダイビングに関するデータを見ることができます。

エア ログ

AIRダイブログは2ページで構成されており、UP ▲ でスクロールすることができます / DOWN ▼。

ページ1は:



- ・ 全体のダイビング時間
- ・ T(最小)
- ・ 最大深さは、MAXDEPTH(m/FT)に及びました
- ・ あなたが参照しているページの数P(1/2)
- ・ ダイビングA. (m/FT)の平均深さ
- ・ ダイビング(°C/°F)の最低気温
- ・ 適用できるとき、山アイコン
- ・ セットされるPPO2は、越えられたアイコンを制限します

2ページ掲載:

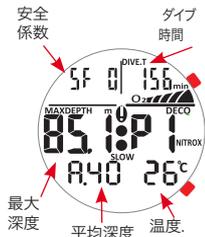


- ・ 分圧PPO2 (1.2/1.6)の最大値
- ・ ダイビング・タイプ(空気)

LOG EAN (GOA)

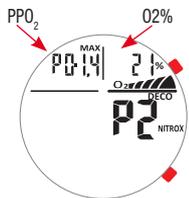
EAN(NITROX)ダイビング・ログは、UP ▲ /DOWN ▼ ボタンでスクロールできる2ページから成ります。

ページ1は:



- ・ AIRダイビング・ログは、UP ▲ /DOWN ▼ ボタンでスクロールできる2ページから成ります。
- ・ 安全係数SF (0/1/2)
- ・ 全体のダイビング時間 DIVE.T (min)
- ・ ダイビングで到達可能な最大深度 MAXDEPTH (m/FT)
- ・ あなたが参照しているページの数P (1/2)
- ・ ダイビングの平均深度A. (m/FT)
- ・ ダイビングの最低気温°C/°F
- ・ 適用可の場合は、山アイコン
- ・ 制限超過アイコンセットのPPO2

2ページ掲載:

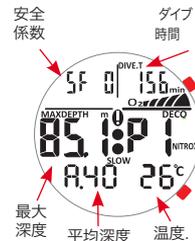


- ・ 分圧pp O2 (1.2/1.6)の最大値
- ・ 混合物 (21/50%) O2の酸素パーセンテージ

LOG EAN (CARTESIO/NEON)

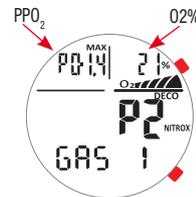
EAN(NITROX)ダイビング・ログは、UP ▲ /DOWN ▼ ボタンでスクロールできる2ページから成ります。

ページ1は:



- ・ AIRダイビング・ログは、UP ▲ /DOWN ▼ ボタンでスクロールできる2ページから成ります。
- ・ 安全係数SF (0/1/2)
- ・ 全体のダイビング時間 DIVE.T (min)
- ・ あなたが参照しているページの数P (1/2/3)
- ・ ダイビングで到達可能な最大深度 MAXDEPTH (m/FT)
- ・ ダイビングの平均深度A. (m/FT)
- ・ ダイビングの最低気温°C/°F
- ・ 適用可の場合は、山アイコン
- ・ 制限超過アイコンセットのPPO2

2ページ掲載:



- ・ 分圧pp O2 (1.2/1.6)の最大値
- ・ 混合物 (21/50%) O2の酸素パーセンテージ

3ページ掲載:



- ・ GAS2のための分圧pp O2 (1.2/1.6)の最大値
- ・ GAS2のための混合物 (21/99%) O2の酸素パーセンテージ

フリーダイブログ

フリー(無呼吸)ダイビング・ログは、UP ▲ /DOWN ▼ ボタンでスクロールできる2ページから成ります

1ページ掲載:



- ・ 総セッション時間SESS(最小)
- ・ セッションで到達した最大深度MAXDEPTH(m/FT)
- ・ あなたが参照P(1/2)したページ数
- ・ ダイビングD.(01、02、03...)の累計数
- ・ セッション°C/°Fの最低気温EPTH

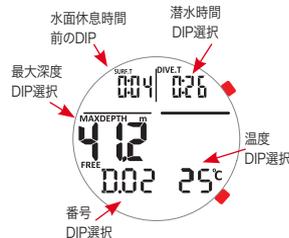
2ページ掲載



- ・ セッションの合計水面時間SURFT(分)
- ・ セッションのダイビング合計時間DIVE.T(分)
- ・ セッションで最高のダイビングの時間B.(分:秒)

個別ディップログ:

- SEL** フリーログの2ページのうちの1つのボタンを押すことで、個々のディップに関するデータにアクセスできます。UP ▲ /DOWN ▼ ボタンでスクロールすることによって、このログでは関連データでディップをこの順序で示します:
- ・ 前のディップの水面の時間。SURF.T(分)
 - ・ 表示されるディップの水面下の時間、DIVE.T(分)
 - ・ 表示されるディップの最大深度(m/FT)
 - ・ 表示されるディップの回数、D.. (01、02、03...)
 - ・ 表示されるディップの最低気温、°C/°F



(個々のディップ・ログは、100ディップ以下のセッションでだけ見られます。

100以上のディップで個々のデータをセッションで見ると、PC/MACインターフェースを使用してください)。

ゲージログ

ゲージダイブログはUP▲ /DOWN▼ボタンでスクロールできる2ページから成ります

1ページ掲載:



- ・ ダイブ時間 DIVE.T (分)
- ・ ダイブで到達した最大深度 MAXDEPTH (m/FT)
- ・ あなたが参考に行っているページ数 P(1/2)
- ・ ダイブでの平均深度 A.(m/FT)
- ・ ダイブでの最低温度 °C/°F

2ページ掲載:



- ・ 深度ストップウォッチで記録される時間

ダイブセット: ダイブパラメータを設定します。AIR/ナイトロックス/ NITROX(GOA)NITROX GAS1-2(CARTESIO/NEON)

かつて、MODE SET (MODE-S)メニューは、AIRに設定されました。そして、NITROXがモードである、DIVE SET (DIVE-S)メニューにアクセスすることによって、あなたはパラメータを変更することができます。

ダイブセットメニューにアクセスするには **SEL** ボタンを押してください。AIR/NITROXモードでDIVE-Sメニューによって変わるパラメータは、以下の通りです:

(O2ニトロキシド・モード) - ガス圧の部分圧(CARTESIO/NEONのみ) - 酸素圧ガス2(O2ニトロキシド・モード) - オゾンパーセンテージ (CARTESIO/NEONのみ)。

深度停止

世界で、異なるスキューバダイビング教育法と異なる減圧論があります。そして、それぞれは科学的な証拠、検査と実際的な経験に基づいて開発されました。それらの一部によると、特定のダイブの経過中に、他のアプローチがこのタイプの減圧側面を考えない間、DEEP STOPは必要とされます。

GOA/CARTESIO/NEONは、有効なDEEP STOP機能で、工場にセットされます。DEEP STOPアイコンは、深度停止機能がONであることを明らかにします。あなたが確認ビープ音を聞くまで、深度停止機能OnとOffに変えるために、**SEL** ボタンを押してください。

SF (安全係数)

安全係数は、潜水をより大きなDCS危険に役立っている個人の要因の面前でより安全にする更なるパラメータです。それは、ダイバーによって異なる値にセットが可能です：

SF0/SF1/SF2。メーカーによるデフォルト・セッティングは、SF0 (すなわち、Off) です。安全係数 (SF) を変えるために、**SEL** ボタンを押して、UP▲/DOWN▼ (SF0/SF1/SF2) によって、要望通り係数を調節してください。あなたが確認ビープ音を聞くまで、**SEL** BUTTONを押すことによって、確かめてください。

ALT (高度・水位)

高い高度でダイビングする場合、以下の通りにコンピュータを調節してください：ボタンを押して、高度値を入力するために、UP▲/ダウン・ボタンを使ってください。確認BEEPを聞くまで押し続けて下さい。表示アイコンは、以下の高度レベルを表します：

山でない：	0から700mまで；
1の山：	700から1500mまで；
2の山：	1500から2400mまで；
3の山：	2400から3700mまで；

コンピュータが新しい高度セッティングの機能としてその数学モデルを変えたことを、各々のアイコンは示します。

言うまでもないことですが、入力値は、到達する実際の高度と一致しなければならず、コンピュータ (何もない、1または2でないまたは3の山でない) により提供される高度範囲に含まなければなりません。あなたがいつもであるより高い高度へ移るとき、あなたの体が窒素で過度に飽和により変化を被って、外の環境で新しいバランスを見つけなければならないことを肝に銘じておいてください。同様に、空気の低下した酸素分圧のために、体が特定の順応時間を必要とすることを、あなたは心にとめておかなければなりません。このように、高い高度で場所に到着した後に、あなたはダイビングの前に少なくとも12/24時間待たなければなりません。

△危険：GOA/CARTESIO/NEONは自動的に高い高度でダイビングを管理しません、したがって、あなたが正しい高度レベルを決めて、潜水の前に必須の順応時間を尊重することは重要です。

△危険：9842フィート以上のA.S.L.の高度の潜水は、DCSリスクをかなり増大させます。

酸素分圧 PO2

エアダイビングのために、そして、どんな種類のダイビングの間でも、最大安全性を確保すべく、1つの混合物 (GOA) または2つの混合物 (CARTESIO/NEON) を使うかどうかにかかわらず、Nitroxダイビングのために、GOA/CARTESIO/NEONは、1.4バールの基本酸素分圧価格 (PO2) に、工場にセットされます。ダイビングのために安全性の限界を増やすのに必要であるとそれがわかるならば、最低1.2バールまで、あなたはPO2を低い値にセットすることができます。酸素分圧 (PO2) 空気 (NITROX (ゴア)) をセットすること： PPO2スクリーン・プレスに機能にアクセスするボタン。

分圧の明度が、光り始めます。望ましい分圧セッティングに達するまで、UP▲/DOWN▼を押してください。

確認のピープ音が聞こえるまで、確認のため **SEL** を押して下さい。その機能を終了するために **ESC** を押して下さい。

酸素分圧(PO2)NITROX GAS1/GAS2(CARTESIO/NEON)をセットすること:

PPO2 GAS1スクリーンで、機能にアクセスするために **SEL** ボタンを押して下さい。

望みの分圧をセットするまで、UP▲/DOWN▼ボタンを押して下さい。確認のピープ音が聞こえるまで、**SEL** ボタンを押してください。

PPO2 GAS2画面に進むには、UP▲/DOWN▼ボタンを押して下さい。PPO2 GAS2 画面では、機能にアクセスするためSELボタンを押して下さい。

分圧の明度が、きらめき始めます。

望みの分圧をセットするまでは、UP▲/DOWN▼ボタンを押して下さい。確認のピープ音が聞こえるまで、確認のため **SEL** ボタンを押して下さい。その機能を終了するために **ESC** ボタンを押して下さい。

重要: ダイバーによって手動で異なる値に変えられるまで、コンピュータは入力される最新PO2の値を保持します。

注記: 最大PO2の設定値と%O2混合物の酸素パーセンテージが変化するとき、コンピュータは到達可能な最大深度を示します。

重要: AIRダイビングのために、そして、NITROX混合物によるダイビングのために、PO2は1.4バールの基本的な(デフォルト)値まで、工場で設定されます。このように、スポーツ・ダイビングに推薦される最も保守的な値を採用することによって、あなたのダイビングは保護されています。

しかし、PO2(NITROXダイビングに関する章で定める)の異なる値を選ぶことができます。それがダイバーによって新しい値に設定されるまで、設定値はコンピュータに保存されています。

酸素パーセンテージ (NITROX) GOA

%O2 画面では、機能にアクセスするために **SEL** ボタンを押して下さい。酸素パーセンテージ度が、きらめき始めます。

希望する明度をセットするために、UP▲/DOWN▼ボタンを押して下さい。

確認のピープ音が聞こえるまで、確認のため **SEL** ボタンを押して下さい。その機能を終了するために **ESC** ボタンを押して下さい。

%O2 画面では、機能にアクセスするために **SEL** ボタンを押して下さい。分圧の明度が、瞬き始めます。

希望する明度をセットできるまで、UP▲/DOWN▼ボタンを押して下さい。

確認のピープ音が聞こえるまで、確認のため **SEL** ボタンを押して下さい。その機能を終了するためにESCボタンを押して下さい。

酸素パーセンテージ (NITROX GAS1 GAS2) CARTE-SIO/NEON

%O2 GAS1 画面で、機能にアクセスするためにSELを押して下さい。酸素パーセンテージ明度が、きらめき始めます。

希望の明度をセットできるまで、UP▲/DOWN▼ボタンを押して下さい。確認のピープ音が聞こえるまで、確認のため **SEL** ボタンを押して下さい。

%O2 GAS2画面に移動するためにUP▲/DOWN▼ボタンを押して下さい。 %O2 GAS1 画面では、機能にアクセスするために **SEL** を押して下さい。

酸素パーセンテージの明度が、瞬き始めます。

希望の明度に到達するまで、UP▲/DOWN▼ボタンを押して下さい。

確認のピープ音が聞こえるまで、**SEL** を押して下さい。その機能を終了するために **ESC** ボタンを押して下さい。

メニューがFREEに設定されるならば、ドライブセット (DIVE-S) メニューにアクセスすることにより、アラームをオンにすることができ、変えることができます。

ドライブセットメニューにアクセスするために **SEL** ボタンを押して下さい。フリーモードで利用できる警報は、以下の通りです：(サーフェス-T) - (深度) - (ステップ) - (ダイブ-T)

水面時間アラーム (SURF-T)

この警報がオンにされたとき、一旦以前セットされる時間が経過するならば、腕時計は表面の時間が越えたことを示すために3つのピープ音を出します、そして、表示に関して示される表面の時間は瞬き始めます。時間は1'00"から10'00"範囲で0'30"ステップで設定可能です。

を押して機能 **SEL** にアクセスし UP ▲ / DOWN ▼ ボタンを使用して希望の時間を設定し、を押して確定します。 **SEL**

深度アラーム (DEPTH)

この警報がONの場合、一旦以前セットされた深度を越えるならば、腕時計は深度レベルが越えたことを示すために3つのピープ音を出します、そして、表示に関して示される深度は瞬き始めます。深度は、1m(3フィート)刻みに、1m(3フィート)から50m(164フィート)まで設定可能です。機能にアクセスするために **SEL** ボタンを押して下さい、そして希望の深度を設定するために、UP ▲ / DOWN ▼ ボタンを使用して下さい、それから確認のために **SEL** ボタンを押してください。

深度インターバル警報 (STEP)

深度間隔、たとえば2m(6フィート)毎、を越えた場合はいつでも、警報の発信をあなたは設定することができます。

この警報がオンになっている場合、深度間隔を越えたときはいつ

でも、腕時計は3つのピープ音を出します。

2m(6フィート)から25m(82フィート)範囲で、1m間隔をで設定することができます。機能にアクセスするため **SEL** ボタンを押して下さい、そして希望の深度を設定するために、UP ▲ / DOWN ▼ ボタンを使って下さい、それから確認のために **SEL** を押して下さい。目ざまし時計がONであるならば、表示は目ざまし時計(ベル)アイコンを示します。

ダイブ時間アラーム (DIVE-T)

この警報がオンのとき、一旦以前に設定された時間が経過するならば、腕時計はあなたのダイビング時間が越えられたとあなたに教えるために3つのピープ音を出します、そして表示に関するダイビング回数の表示は瞬き始めます。

ダイビング時間は、0'10"刻みで0'10"から6'00"まで範囲で設定できます。

その機能にアクセスするために **SEL** を押して、望みの時間を設定するために UP ▲ / DOWN ▼ ボタンを押します、そして確認のため **SEL** ボタンを押します。

アラーム設定モードを終了するには **ESC** を押します。

このスクリーンから **SEL** ボタンを押すことにより、日付時間調整、目覚し時計、第2タイムゾーン機能にアクセスできます。

UP ▲ / DOWN ▼ ボタンを押すことにより、以下の画面を通してスクロールが可能です：AL. ON/OFF (デイリーアラーム時計) - H24/H12 - 時間 - 分 - d-m/m-d (日-月 または 月-日 選択) - 日 - 月 - 年 T2 (第2タイムゾーン) ON/OFF.

アラーム時計の設定：

AL. OFF 画面から、**SEL** ボタンを押して下さい。

画面はインデケーション・オフを表示し瞬きます。

オンに変更するために UP ▲ / DOWN ▼ ボタンを押し、その選択を確認のために **SEL** ボタンを押します。

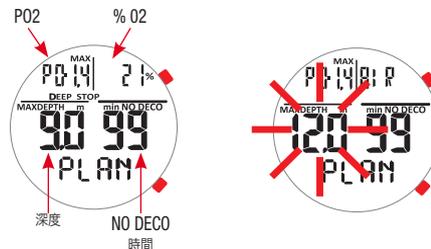
時間又は分モードに移動するために UP ▲ / DOWN ▼ を押して下さい、瞬いているデータが選択されたものです。SEL を押して、それからパラメータ変更のために UP ▲ / DOWN ▼ を押して下さい。確認のピープ音が聞こえるまで、SEL を押して下さい。その機能を終了するために ESC を押して下さい。

他の時間帯タイムゾーンの設定 W (世界)

T2画面から、SEL ボタンを押して下さい。
画面上ではインディケーション表示がOFFとなり瞬きます。
30分刻みで、タイムゾーンを変更(増/減)するために、UP ▲ / DOWN ▼ ボタンを押して下さい。
確認のため SEL を押し、その機能を終了するために ESC を押して下さい。

プラン (ダイビングプラン)

この画面から、PLAN機能にアクセスするために SEL ボタンを押して下さい。



この機能で、使われる (NitroxまたはAir) 混合物に従い、あなたはいろいろな深度レベル (安全カーブ) で、まだ利用できる非減圧時間を見ることができます。明度は、シリーズの最初のダイビングのために、そして、二つ以上の連続したダイビングの表面の間供給されます; この後者の場合、GOA/CARTESIO/NEON は残留する窒素を考慮して、それに応じてカーブ時間を減らします。画面に関しては、無差別にUP ▲ / DOWN ▼ ボタンを押すことによって得られる後者の3m (10フィート) の手動での増大でああなたは、9m (29フィート) から48m (157フィート) の範囲まで、いろいろな深度について安全カーブ (非減圧時間) の明度を参照します。この機能を終了するには ESC ボタンを押し続けて下さい。

システム - システムメニュー

PC/MACの上へデータをダウンロードし、あなたのシステム設定を変え、機器、その他をリセットすることが、システム・モードによってできます。

PC リンク - PC互換性インターフェース

CressiによるGOA/CARTESIO/NEONは、以下の特徴があるパーソナル・コンピュータにインターフェースで接続可能です:

- オペレーティングシステム: Windows/Mac 2つのコンピュータを接続するために、以下のように進めて下さい:

・UCI水中コンピュータ・インターフェース・ソフトウェアをPC上にインストールしてください。

・PCでCressiインターフェースのハードウェアをUSBドアに接続してください。

・システムメニューから **SEL** ボタンを押すことにより、GOA/CARTESIO/NEON PC機能にアクセスして下さい。

履歴 (HIST) - ダイブメモリー

HISTスクリーンは、ダイビングの非再設定可能な歴史的な記憶を示します: 最初の線は使用の総時間数をダイビングHxxxで示します、そして、2本目の線は到達する最大深度を示します。

INFO - SYSTEM 情報

INFOスクリーンは、システム情報を供給します。最初の線は、シリアル番号Sn xxxxxxを示します

2本目の線は、ファームウェア版1xxとユーザーによってなされるバッテリー交換の数を示します。

AL.SP -AIR/NITROX/GAGE モデルでの浮上アラームを除く

この機能によって、聞き取れる警報の迅速な上昇を抑制することができます(> 12m/min)。

警告: 非常に速い浮上率は、減圧病のために危険を増します! 上昇の全責任が警戒を評価するならば、この機能はインストラクターによって使用のために予約されています(AL.SP)処理。い

ずれにしても、この機能が起動するとき、コンピュータはダイビングを通して交差した余分の拡声器を表しているアイコンを表示します。 

ALSP画面から、アラーム除外を起動させるために、確認のビープ音が聞こえるまで、確認のため **SEL** ボタンを押して下さい。システムメニューに戻るには **ESC** ボタンを押して下さい。

T.ERASE (TISSUE ERASE) 機器 リセット

T. ERASE機能によって、あなたは現在進行中の不飽和化に関してすべての計算を消すことができます。機器がリセットされるときでも、ログブック、プロフィールとなされるダイビングの歴史的な記憶は保持されます。

機器がダイビングセンターで賃借されるとき、この機能は役立つかもしれません。

危険: それが以降のダイビングのために水中で使われなければならないならば、決して器具をリセットしないでください!

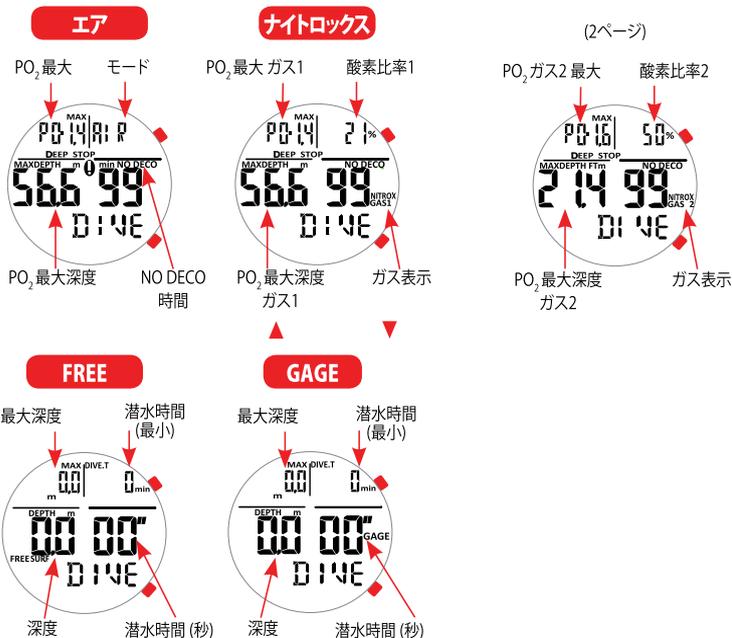
T.ERASE画面から、機器をリセットするためには、**SEL** ボタンを押して下さい。

この時点において、NOという表示が瞬き、質問SURE?という質問が表示されます。NOからYESへ行くために UP ▲ / DOWN ▼ ボタンを押して、すぐにその後 **SEL** ボタンを5秒間押下してください:これは5秒からゼロまでカウントダウンを始めます、そして、その終わりに、あなたは3つのビープ音で、機器リセットが正常に完了したことを裏付けているのを聞きます。

ダイブ (プレダイブ)

DIVE (プレダイビング) スクリーンはダイビングの前に見るものです。このスクリーンから、あなたは、以前にセットされるすべてのパラメータをコントロールすることができます。

ダイビングの前に腕時計をダイビング・モードにセットして、すべてのダイビング・パラメータが正しいことを確認することは重要です



コンピュータのダイビング機能

GOA/CARTESIO/NEONコンピュータは、3つの異なるモードにセットが可能です:

- AIR、ダイビングが空気となされるならば、減圧計算特徴を機能させたいです。
- NITROX、ダイビングが1または2でなされるならば、ハイパー酸素を含ませたNitroxは混ざりませ、そして減圧計算特徴を機能させたいです。
- フリー、ディップ数と表面及び深度警報によるスキングダイビングのため
- GAGE、あなたが、減圧計算特徴を機能させたくない、しかし、ダイビング時間、即座の深さと平均深さ表示と再設定可能なストップウォッチを持ちたいならば。

注記: GOA/CARTESIO/NEONは、1.4バールに設定されたPO₂圧と21%にセットされた酸素パーセンテージのエアダイビングのために、AIRモードに工場場でセットされます。エア21%以外のパーセンテージをセットするためには、NITROXモードを起動させてください。

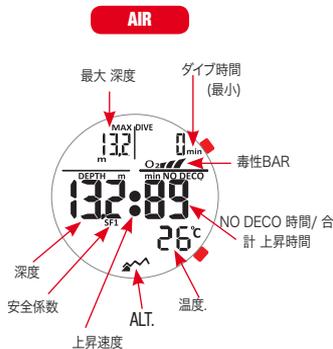
警告: ダイビングの前に、あなたのコンピュータがブロックされていない(南京錠アイコンの存在 )ことを確認してください。もしそうであるならば、MODE-Sメニューからその錠を開けてください。

警告: ダイビングの前に、TOPスクリーンからDOWN ▼ ボタンを押すことによって、あなたがコンピュータをDIVEモードにセットしたことを確認してください。このように、1.20Mの深さに達するとすぐに、コンピュータはほんの2秒でしかダイビング・パラメータの計算を起動させません。そうすることを忘れた場合は、コンピュータはほんの1.20Mの深さに達する20秒の時の範囲内でしか自動的にコンピューティングを始めません。

安全カーブ内でのダイビング。 エアモード: 空気とダイビング。

コンピュータがAIRモードにセットされる場合、安全カーブの中のダイビングにおいて、画面には以下の情報が示されます:

- 経過時間(ダイビング時間、T min.)。
- 現在の深度(深度 m.)。
- 到達最大深度(Max m.)。
- 非減圧時間(No Deco min.)。
- 現在の気温、°C または °F表示。
- 上昇率指標。
- 設定された場合、高度レベル。
- 安全係数, SF.
- CNS酸素毒性レベルを表す棒グラフ。



さらなる重要な情報は、ダイビングの間、UPボタンを押すことによって得られるかもしれません、即ち:

- 最大、PO2 設定。
- (エア)モード選択。
- 最大限到達可能深度。PO2設定。
- 現在時刻。



NITROX モード: nitroxでのダイビング。

このパラメータがダイバーによって手動で変更されるまで、GOA/CARTESIO/NEONコンピュータのメモリは以前に入られる酸素パーセンテージ%O2値を保持します。

それゆえに、それを理解することが大事です:それらがダイビング活動ですべての面で完全には知られておらず、分析も研究もされていないのであれば、人工呼吸混合物は人の健康にとってもひどい危険をもたらします。

あなたが呼吸する混合物はコンピュータで設定される混合と完全に同一でなければならぬと理解することは重要です。さもなければ、減圧に関する情報とコンピュータで供給されるガスの毒性は、人の生命に危険をもたらします。NITROXダイビングの前、最中、及び後で、酸素パーセンテージをチェックして、スキューバダイビング・シリンダーの酸素のパーセンテージと正確に一致することを確かめることは重要です。

NITROXダイビングの前。

スキューバダイバーがNitrox混合物モードに設定するまで、GOA/CARTESIO/NEONコンピュータは常にAirダイビング・モードを動作中にしています。このケースでは、画面はNITROXアイコンを示します。そしてそれはダイビングの最中、そして、GOA/CARTESIO/NEONコンピュータがNITROX MODE-Sに設定されている限り、表示されています。コンピュータが新しいパラメータにより計算アルゴリズムを調節できるように、一旦Nitroxプログラムが起動されれば、その内容の慎重な分析を行った後に、使用しようとしているシリンダーに含まれる酸素パーセンテージ(%O2)の正確な値を入力する事が必要です。

危険: そのような混合物の使用に関してトレーニング・コースを正常に完成したダイバーのために、ハイパー酸素を含ませた(NITROX)混合物によるこのコンピュータの使用は、予約されています。

危険: 混合物の中の酸素パーセンテージを個人的に確かめることなくNITROX混合物を含んでいるシリンダーでダイビングをしないでください。

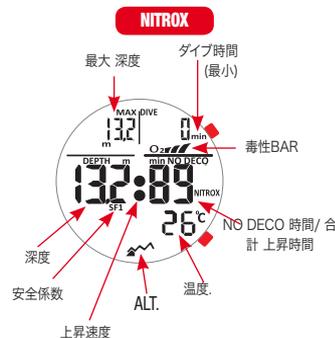
重要: 潜水の前に、常にコンピュータで%O2パラメータ(酸素パーセンテージ)の設定を確かめてください!
これは、主なダイビングスクリーンとダイビングセットスクリーンから、水面レベルでできます、そして以前設定されたパラメータの素早い見方が提供されます。

重要: 水中での時間は同じであること、NITROX混合物はAIRより長い減圧時間を必要とすること肝に銘じておいてください。使用されるNITROX混合物によって許容される最大深度を厳格に固守することが必要不可欠です。

NITROXでのダイビング

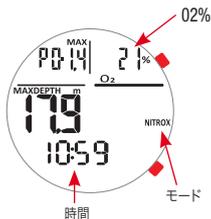
安全カーブの中でNitrox混合物伝導のダイビングをする間、通常のエアダイビングと関連したあらゆる情報に加えて、以下のデータも与えられます:

- ・ CNSのために現在のO2毒性レベルを表す棒グラフ。
- ・ NITROX GAS1アイコンまたはGAS2アイコン(CARTESIO/NEON)。
- ・ 現在使用されている混合物(GAS1またはGAS2/CARTESIO/NEON)



更なる重要な情報は、ダイビングの間、UPボタンを押すことによって得られるかもしれません、すなわち：

- 最大値 PO₂ 設定。
- 酸素パーセンテージ %O₂ 設定。
- 最大値PO₂設定の効用として到達可能最大深度
- 現在時間。



混合物に関するデータがGAS1またはGAS2 (CARTESIO/NEON) を選んだことを、2ページ目は示します。

2つの混合物とのダイビング： ガス交換モードでのダイビング前のガス交換 (CARTESIO/NEON のみ)

ダイバーがそれを変更して、2つの混合物の用途に、EAN (NITROX) モードでセットするまで、CARTESIO/NEONコンピュータはデフォルトで実行中のエアダイビング・モードを保持します。ダイビング・モードをセットすること。このケースでは、画面はNITROXアイコンを示します。そして、それはダイビングを通して、そして、CARTESIO/NEONセッティングが再び変わるまでそのままです。コンピュータが新しいパラメータにより計算アルゴリズムを調節するのを可能とするために、その内容の慎重な分析を行った後に、使用しようとしているシリンダーに含まれる酸素パーセンテージ (%O₂) の正確な値を入力する事が必要です。

ダイビング中のガス交換 (CARTESIO/NEONのみ)

ダイビングからの上昇の間、コンピュータがMODE-S NITROXにセットされるならば、他の混合物 (GAS2) の運用最大深度に達するとすぐに、主要な混合物GAS1のアイコンは点滅し始めます;これは、その深さ小さい深度で、ガス交換が可能であるという話です。このポイントにおいて、混合物を変えるために、あなたはMIXボタンを押えつけておかねばなりません。最後の線は、GAS1を読み込みます。GAS2表示が第2の混合物のパラメータで現れるのを見るために、UP ▲ / DOWN ▼ ボタンを押してください。第2の混合物、GAS2のセッティングを確かめるために **SEL** ボタンを押してください。

注記: 第2の混合物 (GAS2) の最大、操作上の深度が越えられないならば、主要なガス混合物GAS1のアイコンは瞬きません。

危険: 現在の深さがMIX2によって許される最大深度より大きいならば、CARTESIO/NEONはガス交換を認めません。

PO2 アラーム

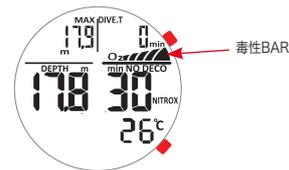
コンピュータは、継続的にもう一つの基本的な酸素関連のパラメータをモニターすることができます: 分圧 (PO2)。酸素毒性は実際、過度の露出、或いは最大値超えによる場合があります。そして実際それは使用中の混合物で許される制限深度を超過した事を意味します。上述の通り、PO2の制限値はダイバーによって1.2バールから1.6のバール範囲で設定されます。GOA/CARTESIO/NEONは、1.6バールを分圧のため許される最大の制限と見做し、使われる混合物の機能として、自動的に到達可能な最大深度を示します。空気が使われるときでも、酸素毒性制限に達する可能性のある事を忘れないで下さい。この制限値は設定されるPO2値の機能によって変わります。GOA/CARTESIO/NEONは、工場で設定されるデフォルト値1.4バールを提供します、そしてそれは空気中で56.6m (186フィート)の最大深度と一致します。GOA/CARTESIO/NEONは工場で設定されるデフォルト値1.4バールを提供します、それは空気中で、56.6m (186フィート)の最大深度と一致します。言うまでもありませんが、最大値1.6バールまで、コンピュータでPO2の他の値に設定する事ができます: あなたが水面レベルにいる時だけ、DIVE-S PPO2 SET画面からこれは可能です。

過度のPO2をスキューバダイバーに警告するためコンピュータには **PO2** 警報機能があります。PO2設定値(1.2バールから1.6バールまで)と一致している制限深度に達するとき、警報音が出されます、そして同時に視覚警報は現在の深度と共に瞬いているPO2アイコンを示します。より深度の浅いところに上昇するや否や、警報音は静まり、現在の深度では瞬きが止み、アイコンの瞬きも止まります、しかし残りのダイビングの間はオンのままです、そしてそれはログブックに記録されます。

CNS 毒性画面

CressiによるGOA/CARTESIO/NEONコンピュータは中枢神経系 (CNS) にチャートを通して酸素毒性の程度を例示することができます。毒性の程度は、酸素分圧及び酸素分圧 (PO2) 高値までのダイバーの露出時間に依存します。

酸素毒性レベルは、画面上で、5つの部分から構成されているコラムとして表示されます、そして、酸素増強量が増えていることを示します。すべてのセグメントが点灯する場合、それは最大限許容され得るCNS寛容値の100%に達したことを意味します、そして、スキューバダイバーは過酸素症の危険にさらされます。従って継続的にこの値をモニターできることが重要です、そしてそれは酸素分圧と露出時間に依存して、ダイビングの間、常に管理されなければなりません。酸素濃度が危険なレベルに達し、最大限許容される毒性(5つのセグメントで4つ点灯)レベルに近づく、グラフィック・バーは瞬き始め、そして一時的な警報音が出されます、それによりあなたがCNS毒性状況の近くにいと分かるのです。状況が同じままであるか、更に悪化する(許容可能な毒性の100%)ならば、バーと表示項目は瞬き続けます、そしてダイバーが動き上昇するまで、一時的な警報音は繰り返され、酸素分圧は0.6以下の空気まで低下します。このポイントにおいて、グラフィック・バーは瞬き停止します、しかし警報音はまだログブックに録音されます。



注記: 酸素露出計算結果は次のより高い $^{\circ}$ - センテジ 値まで処理されます。

危険: ダイビングの際、ハイパー酸素を含ませた混合物を使わないでください、そして、特に中で、最初に特定のトレーニング・コースをとって、減圧ダイビングします。減圧限度の範囲内で、いろいろなスキューバダイビング・トレーニング・センターのそばで与えられる基本的なNITROX証明で、ダイバーは標準的なハイパー酸素を含ませた混合物 (EAN32と慧安36) を使うことができるのみです。

浮上レート

浮上率は表示の中央にある点指標によって表示に関し示されます。そして、それは下の図に示されるテーブルによって機能します。最大浮上率値を越えるならば、警報音発信の間、画面はSLOW表示及び3つの瞬くアイコンを示します。これらの状況ではSLOW表示が消えるまで、浮上を止めなければなりません、そして画面表示は通常の状態に戻ります。

			
0.0 - 3.9 m/min.	4.0 - 7.9 m/min.	8.0 - 11.9 m/min.	12 - > 12 m/min.
0.0 - 12 ft./min.	13 - 26 ft./min.	26 - 39 ft./min.	40 - > 40 ft./min.

注記: 12M/MINの最大浮上率ならばーしかし、DCSのためにダイバーを危険から保護するように、それがDESAT期間の間になされる場合だけ、長い期間(腕時計-コンピュータがより保守的な以下のダイビングに作るGOA/CARTESIO/NEON)の間、40F.P.M.は越えられます。アイコンは、 処罪要因が活発であると示します。

危険: 非常に速い浮上率は、指数的に増加するために、DCSに危険を引き起こします！CRESSIは、5M(16フィート)の深さで3分の安全停止、それは各々のダイビング(次章参照)の終わりにコンピュータの補助でされます、を勧めます。

安全停止

潜水理論と潜水生理学の最新の研究によって推奨されるように、GOA/CARTESIO/NEONは10M以上の深さへのどんな急降下の後でも自動的に安全な停止を勧めるようにプログラムされています。安全な停止とは3分続かなければならず、5M(16フィート)と3M(9フィート)の間の深さの範囲でなされなければなりません。



安全な停止は、SAFEアイコンで画面に表示されます。この状態では、画面は分と秒のカウントダウンで、停止時間を明確に示します。それが強制でない間、例えば最大上昇率が繰り返し超過するとき、安全な停止が強く推奨されます。CRESSIは、安全に関わる問題回避のため、定期的な活動停止を勧めます。

注記: 安全な停止の間、最大深度は、UP▲ボタンを押すことによって見るすることができます。

減圧予備警報アラーム

NO DECOアイコンにより画面に表示されるように、カーブ内でまだ利用できる時間が3分に減少するときはいつでも、GOA/CARTESIO/NEONは警報音を発します。この状況で、我々は安全カーブの範囲を逸脱して、減圧を必要とするダイビングを開始しようとしています。

深度停止

上昇の間にできる微小な泡から生じている危険を避けるために、ダイビングプロフィールの機能として、様々な深度なされるように、1、2分間(減圧によるダイビングにおいて)続くDEEP STOPを提案することがGOA/CARTESIO/NEONはできます。ダイビングの間、そのプロフィールが必要とするならば、DEEP STOPという文字が画面に表示されます、そして信号音が聞こえます。STOPアイコンは、数分で停止深度及び時間の値を伴って表示されます。もしダイバーがDEEP STOPを作成しないならば、警告は削除されます、そしてコンピュータは重大な停止なしで上昇を予定します。

注記: DEEP STOP機能がON(DIVE SETをみます)であることを確認してください。

注記: この状況で、最大深度はスクロールアップを押すことによって見られるかもしれません アップ ▲ ダウン ▼ ボタン。

安全カーブ外でのダイビング(減圧)

危険: 安全カーブの外でダイビングをするために、この器具を使わないでください! 減圧ダイビングをするためにこのコンピュータを使わないよう、CRESSIは忠告します。

然しながら、もし不注意のために又は緊急時に、ダイビングの間、あなたが安全カーブの範囲を逸脱しなければならないならば、正しい上昇と相対的な減圧ステップのために必要なすべての情報を提供することによって、GOA/CARTESIO/NEONはあなたを援助することができます。ダイビングがカーブの外側に行くとき、コンピュータは警報音を発します、そして、同時に以下の情報を示すために、表示スクリーンは下記の数字を示すように変わります:



- DECという文字が画面下部で瞬いていて、あなたが安全カーブを離れ、減圧停止をしなければならないと指示しているときは、アイコンを停止してください。上方を指している矢印は、あなたが上昇を始めることを促すべく点滅します。
- メートル(M)またはフィート(FT)で表される最初の減圧停止の深度(最も深いもの)。これは最高24Mから最低3Mの間で、3M毎の減少で変わる可能性があります。
- 最初の減圧(最も深いもの)で数分の時間は止まります。
- 適切な上昇率、及び深度及びそれに続く他深度での停止時間(必要に応じて、深い停止を含める)、及び安全停止時間と様々な減圧ステップを完了した後表面に着くのに必要な時間、を順守している全体の上昇時間、すなわち、最も深い停

止に達することを要求される時間、を示しているTOTALアイコン。

- ・ダイビング時間を示す“DIVE. T”アイコン。

注記: この状況で、最大深度はスクロールアップを押すことによって見られるかもしれません アップ ▲ ダウン ▼ ボタン。

危険: 決して減圧深度にそびえないでください。この状況が偶然に起こるのを防ぐために、減圧の間、同時に点火されて、光っていない2つのアイコンで器具の上で示される減圧深さ範囲の中に、必須の深さよりわずかに深く、しかし、常に、1レベルで残ってください。減圧滞在がなされなければならないとき、ダイビングを完了することを要求されるガスの量が増加することが心にとめておかれなければなりません。

警報省略の減圧停止

もし、何かの理由で、コンピュータで特定された深度が増して減圧停止が省略されるならば、警報音が発信出されます、そして同時に、あなたが減圧ステップ深度、又は更に深く行くまで、下方を指している減圧アイコンは画面で点滅し始め瞬き続けます。コンピュータは最大2分間でこの危険な状態を直させます、そして、それは継続して警報音によって明確に確認できます。

もし2分後にダイバーが特定の減圧深度に戻らなかったならば、GOA/CARTESIO/NEONはエラーモードに変わり、瞬いている「STOP」アイコンを示して次の48時間は使用不可とします：それは単に見張りだけとして機能し、単にログブックと履歴機能だけへのアクセスを許します。それから、例えば水面のレベルのディップ数(時間と深さ)と回復時間のような特定の機能で、GOA/CARTESIO/NEONにはフリーダイバー

減圧ステップが、直近のダイビングの間、省略されたことを示すべ

く下方への矢印による停止アイコンが瞬く間、「STOP」アイコンは、DECOという文字と共に瞬いています。

もしあなたが次の48時間の間に水に戻るならば、GOA/CARTESIO/NEONは繰り返し警報音を配信し、画面にSTOPという文字を示します。所定の日付に所定の数のダイビングが、減圧を停止することなく実施されたことを示すために、同じ警告はログブックに記録されます。

危険: これらの状況では、ダイビングは48時間できません。あなたの状況をモニターしてください、そして、あなたが減圧病の発症を見つけるならば、DIVERS ALERT NETWORK (DAN) と高圧のセンターと交信してください、そして、ダイビングに關してできるだけ多くの情報を提供してください。さもなければ、すなわち、あなたが減圧停止深度以下に1メートル以上下降する時、矢印は瞬き、浮上するようにあなたに指示します。

フリーダイビング (APNEA)

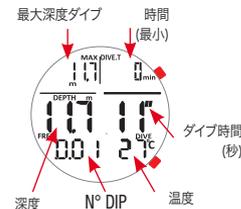
のために専用のモードがあることをPRE-DIVEスクリーンは示します。

重要: この器具が、単に有資格のスキューバダイバーだけによって使われなければなりません: コンピュータは、実際、広範囲な水中のトレーニングに代わることができません。仮死潜水の安全が適切なトレーニングによって確実にされることができただけのことを心にとめておいてください。

△ 危険: ダイビング・コンピュータ・コンピュータは、失神またはTARAVANA症候群の危険性を除外することができません。実際、コンピュータができるすべての事は、ダイビング時代、表面の時代、深度とそのインタラクションに関して徴候を提供することです。ダイバーに供給される情報は単なるデータと考えられていなければなりません。そして、それは評価されて、人間の心によって処理されることだけの安全情報になるかもしれません。したがって、徹底的な理論的なトレーニングが、たいへん推奨されます。

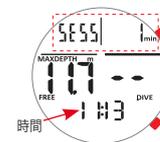
コンピュータがFREEモードにセットされる時、ダイビングの間、最初から最後のラインまで画面は以下の情報を表示します:

- ・ 到達可能最大深度 (Max m.)。
- ・ 分及び秒単位での最新ディップ時間。
- ・ 現在の深度 (Depth m.)。
- ・ 最新ディップナンバー。
- ・ 現在の温度、°C 又は °F表示。



ダイビングの間、UPボタンを押すことによって、関心のある追加情報が、得られるかもしれません、即ち: ▲ (>)

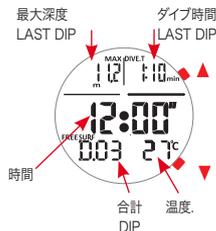
- ・ 合計のフリーダイビングセッション時間、分単位で
- ・ セッション間の最大到達可能深度
- ・ 現時刻



水面レベルで - FREE (APNEA)

2つのディップの水面インターバルの間、画面は以下データを表示します：

- ・最新ディップの最大深度。
- ・直近ディップの水中滞在時間
- ・水面での時間、分及び秒表示
- ・実施ディップ数
- ・温度



APNEAセッションを終了するには：

終了画面確認のため **ESC** を押し、それからUP ▲ / DOWN ▼ ボタンを、YESが表示されるまで押し、そして **SEL** を押して確認する。

注記: この器具が、単に有資格のスキューバダイバーだけによっ

ESC SESSION (SURFACE)
を終了するには



注記: FREEダイビングの後DCSのために危険を防止するために、AIRまたはEANダイビングは、24時間許されません。

ゲームモード：深度ゲージ及びタイマー

AIR、NITROXとFREEモードは別として、コンピュータにはGAGE(深さゲージとタイマー)と呼ばれる第4のモードがあり、フリーダイビング、及びテクニカルダイブという所謂技術的なダイビングにおいて使われる可能性があります。後者の場合、機器はダイビング(すなわち、深さ、ダイビング時間、平均深さ)の基本的なパラメータを提供するだけです、そして、温度とそれは組織飽和と不飽和化計算をしません。そして特別ソフトウェアやテーブルによってプログラムされなければならず、且つ決定されなければなりません。

コンピュータがGAGEモードにセットされるとき、安全カーブの中のダイビングの間、画面は以下の情報を表示します：

- ・到達可能最大深度
- ・ダイビング時間(分表示)
- ・現在の深度
- ・ダイビング時間(秒表示)
- ・平均深度 (A.)
- ・温度



現時刻を確認するには、UP ▲ / DOWN ▼ を押します。

重要: GOA/CARTESIO/NEONコンピュータは単にアマチュア・スポーツ使用のためにだけ設計されました、そして、長いダイビング時代を必要としていて、より大きな減圧病危険をもたらしている職業上の使用権を、それは目的としません。

危険:最初に特定のコースをとらずに空気以外のガス混合物とともに飛び込まないよう、CRESSIは断定的に忠告します。それら以外の危険へのダイバーが気晴らしのダイビングを連想した、そして、ひどい身体的な怪我または極端な場合死さえ引き起こす場合があるスキューバを、いわゆる「技術的な」ダイビングは、実際、露出させる可能性があります。

重要: ダイビングがGAGEモードで実行したあと、器具は48時間飽和/不飽和化計算をしません。

危険: あなたがシステム・モードにアクセスすることによって器具をリセットすることに決めるならば、窒素記憶は削除されます、そして、器具はそのように以降のダイビングを計算することができません。少なくとも48時間があなたの最後のダイビングから経過するまで、この機能を使用しないでください。

GAGEモード起動中は、GAGEアイコンが表示されます。

注記:GOA/CARTESIO/NEONコンピュータは、MODE SET (MODE-S) AIRモードに、工場でセットされます。

注記: 深度センサーは、0と120Mの間で、徴候を供給します。

深度ストップウォッチ (ゲージダイブモード)

GAGEモードのダイビングの間、再設定可能な深度ストップウォッチを作動させることができます。

深度ストップウォッチを作動させるためには赤いボタンを押し **ESC**。



押し続けてください。最後のラインは下記の数字で示すように、ストップウォッチ・データを提供します。

ストップウォッチを開始又は停止するためにはUP ▲ ボタンを押し、ストップウォッチをリセットするためにはDOWN ▼ ボタンを押ししてください。平均深度及び温度画面に戻るには **ESC** を押して下さい。ストップウォッチから見られる最新の値はログブックに記録されます。

コンピュータを酷い可視性状況下で使用する場合

ダイビングの間に画面の照明状況で表示読み取りが難しいならば、LIGHTボタンを押すことによりバックライティング機能をオンにすることができます。表示バックライトは2、3秒間点灯したままで、その後、自動的に消えます。バックライトがONのとき、画面についた多少の暗いしみに気がつくかもしれませんが：このしみはハイコントラスト表示使用によるものであり不具合ではありません。

サーフェスインターバル間隔

MODE-S AIRまたはMODE-S NITROXモードのダイビングの後、0.8M未満の深度まで上昇するとき、画面では以下の情報が提供されます：

- ・ 水面インターバル時間、時間及び分表示 (SURF.T)
- ・ 不飽和化時間 (DESAT)、即ち飛行機に乗り込む前の待ち時間。(時間及び分表示)
- ・ NO FLY時間と関連するアイコン。このアイコンがオンの時、以下を意味します、即ち、飛行機飛行を避けなければなりません、そしてダイビング・サイトの高度より高度に言うてはなりません。
- ・ 終了したばかりのダイビングの最大深度
- ・ ダイビング時間

重要: 主要なスキューバダイビングと高圧の医療組織により提供される徴候に従って、GOA/CARTESIO/NEONは、以下の通りに飛行禁止の時間を適用します:

安全な場所の中の一回のダイビングの後の12時間は、カーブします(減圧なしで)。安全カーブ(減圧で)または繰り返されたまたはマルチ日ダイビングの外のダイビングの後の24時間は、正しく実行しました。GAGEモードでは、または、厳しいエラーがダイビングの間、なされたならば飛び込んだ後の48時間。

注記: あなたが2分未満の表面の間隔の後新しいダイビングを始めるならば、GOA/CARTESIO/NEONは新しいダイビングを前のものの継続と解釈します:ダイビング番号は同じことのままです、そして、ダイビング時間の計算はそれが止まったところから再開します。その代わりに、少なくとも2分の表面の間隔の後なされるダイビングは、以降のダイビングと考えられます。前のダイビングがGAGEモードでなされるならば、器具はダイビングの終了の後の48時間飽和/不飽和化計算をすることができません。そして、表面の間隔SURFによって意味されます。T。

PC リンク - PC 互換インターフェース

以下の特徴があるパーソナル・コンピュータを、CRESSIによるGOA/CARTESIO/NEONは、結びつけることができます:

- オペレーティングシステム: WINDOWS/MAC
- 2台のコンピュータをつなぐために、以下の通りに進めてください:
- ・ PCでUCI水中コンピュータ・インターフェースソフトウェアをインストールしてください。
 - ・ CRESSIインターフェースハードウェアをPCのUSBポートへつないでください。
 - ・ SYSTEMメニューから **SEL** ボタンを押すことによって、GOA/CARTESIO/NEONのPC機能にアクセスしてください。
- それから、指示の後、あなたはGOA/CARTESIO/NEON(例えばダイビングの側面)に含まれるすべてのデータを簡単にダウンロードすることができ、再生、印刷、そしてソフトウェアによってデータを変えることができます。

お手入れ及びメンテナンス

CRESSIによるGOA/CARTESIO/NEONは、集中的な水中の使用に耐えるために設計・製造されました。しかし、あなたは、それが精密器機で、注意して取り扱うに値することを心に留めておかねばなりません。湿気がダイビング・タンクのような大型装備との接触を避けること、激しいショックを避けて、それを過度の熱源から保護すること、使用の後淡水の中でそれをすすいで、慎重にそれを乾燥させること、濡れたまま保存しないこと、これらが良い手入れメンテナンスです。

重要: コンピュータをいかなる種類の溶媒または化学物質とも接触させないでください。乾燥させるために、圧縮空気を使わないでください。 ボタンには、特別なメンテナンス条件がありません:いかなる種類の少しの油もまたはスプレーでもそれに油をささないでください。

注記: あなたがバッテリーを変えるとき、コンパートメントをチェックしてください: 中の湿気の合図に気付いたら、認可されたサービス・センターに器具を送ってください。少しの機能不全が認められる場合も、飛び込んで、それをオーバーホールしておくために許可されたCRESSIディーラーに連絡するために、器具を使わないでください。

バッテリー交換

バッテリーを変えることは、専門家の介入を要さない非常に単純なプロセスで、ユーザーによって直接実行できます。「バッテリー低」アイコンが機器の画面に表示されるときはいつでも、バッテリーは交換が必要です。画面が固定されたバッテリー・アイコンを示すならば、GOA/CARTESIO/NEONはまだすべてのその機能を実行することができます。しかし特に腕時計-コンピュータが寒所で使われるならば、我々はできるだけ早くバッテリー交換を勧めます。



バッテリー残量低下
(早めの電池交換をお勧めします)

もしバッテリー・アイコンが瞬くならば、ダイビング機能は安全理由のために使用不能です



バッテリーを交換して下さい
(ダイブ機能動作不良)

重要: バッテリー交換すると、すべての不飽和化、時間と日付データは失われます。あなたのコンピュータのログブックの項目を正しく保つために、再度、時間と日付をセットしてください。

すべての不飽和化計算データが失われるので、不飽和化が進行中であるとき、バッテリーを変えないでください。この場合、次の48時間飛び込まないでください。バッテリー変化の後、すべてのパラメータは、ユーザーによってセットされる最後の値に戻りません。時間と日付は、リセットされなければなりません。バッテリーを変えるために、ネジ回して、カバーを器具の後ろに固定する2本のネジのネジを抜いてください。

カバーを取り外して、バッテリーとバッテリー区画室の状況を観察してください: 浸入による腐食の徴候に気付いたら、器具を分解検査しておくために、正規のCRESSIセンターと交信してください。すべてがすばらしく見えるならば、コンピュータを持っている間、そのコンパートメントからバッテリーを取り外してください。示される(間違った両極性は器具に損害を与えることができます)両極性を尊重しているバッテリーを交換してください。カバーを閉じる前に、コンパートメントで不純物について調べて、カバーのシールガスケットの上へ、シリコン油の薄膜を適用してください。

注記: バッテリーのサービス寿命には、機器購入前の保管期間も含め、いろいろな要因が影響を及ぼすことを心に留めておいて下さい。即ち、ダイビング時間、バックライティングの使用、バッテリー品質等が要因です、そして例えば、温度の機能によって変化するバッテリーの平均的耐用年数は様々です。

注記: 過度にカバーを締めつけ過ぎないでください、何故ならば過度な締めがバッテリー区画の密閉をより良く確実するわけではないですし、逆にカバーにダメージを与えたり、再びカバー

を開けることを難しくしさえするかも知れないからです。圧力センサーに触れないで下さい、又、綺麗に掃除しようとししないでください!どんな故障も、保証から除外されます。

注記: 器具が密閉されていることを確認してください!

重要: 故障したり誤ったバッテリー変化により浸水していれば、何でも保証から除外されます。

アルゴリズム: CRESSI RGBM アルゴリズム。

サンプル組織: 2.5及び480分間の飽和ハーフトイムでの9

深度センサー:

- 海水(淡水の中で示される深度値はおよそ3%より低いです)のために調整されます

- 測定範囲: 0-120M (0 FT. - 393 FT.), 毎秒測定。

- 精度: +/- 1% (T 20°C).

- 読み取り解像度: 10 CM (FROM 0 TO 100 M) / 1 M (FROM 100 TO 120 M) / 1 FT. (FROM 0 TO 316 FT.)

- データ取得インターバル: 水面 20秒。ダイビング中 1秒。

温度計:

- 解像度: 1 °C / 1 °F

- 測定範囲: -5 °C +40 °C.

- 精度: +/- 2°C/ 10分T変化。

腕時計:

- 精度: +/- 30 SEC. 月平均

- 表示 24 時間。

電池:

3V CR 2450 電池。

ワランティ保証

CRESSIダイビング・コンピュータ及び関連アクセサリ-のための限定的CRESSI保証

重要通知: この保証は、消費財の販売に関して、限界を適用できる国家規格により提供される消費者の権利に制限をかけることはありません。

CRESSIは、CRESSIダイビング・コンピュータと関連商品アクセサリ- (製品) の買い手に、この制限保証を提供します。

保証期間中は、CRESSIまたは認可されたCRESSIサービス・センターは彼らの独自の決定権で、この制限保証の条件に従い、製品を修理する又は取り替えることによって、どんな材料、デザインまたは製造欠陥を直しもします。

この限定保証は、CRESSI限りはその国での販売のための製品を充てとしてのみ、製品を購入された国で有効かつ効果的である。この制限保証ワランティは、製品が購入された国でだけ、そして、CRESSIが販売用製品に割り当てた国でだけ有効です。しかし、もし製品が、EU加盟国の1つで、アイスランド、ノルウェー、スイスまたはトルコで購入されるならば、そして、CRESSIが元々前記の国の1つで販売用の製品を割り当てるならば、この制限保証はそれらの国で有効です。

この保証の条件に従って、サービス規制は国に特有の要素の製品で生じます。

アイスランド、ノルウェー、スイスとトルコ以外の欧州連合の外の国に対し、買い手が維持費を払うことに同意する、そして、CRESSIまたは認可されたCRESSIサービスセンターによって出荷に要する経費の返還に同意するならば、製品が当初購入された以外の国で保証により提供されるサービスを得ることができます。このケースでは、補修用部品は無料で供給されます。

ワランティ期間

保証期間は、製品が最初の買い手によって小売業者から購入された日付より開始される。

製品は、異なる保証期間がある異なる構成要素から成る可能性があります；

特にこの制限保証は、以下の期間に渡り適用されます：

- A) ダイビングコンピュータに対し2年
- B) 消耗品及びアクセサリに対し1年、以下を含むがこれに限らず、手首バンド、バックルなど(最初の販売パッケージに含まれるか或いは別売りであるかどうかにかかわらず)。

適用可能な国内法令によって許される限度の範囲内で、保証期間は延長されず、更新されず、そしてCRESSIによって認可されるその後の再販、製品修理または製品代用についてもどんな形であれ保証変更されません。しかし、保証期間の間に修理・交換された製品部品及び交換部品は、残りの元々の保証期間の間、または、修理・交換の日付の3ヵ月の期間の間のいずれか長い期間、はワランティ保証でカバーされます。

どのようにワランティサービスを利用するか

この制限保証に従ってクレームを提出したい場合は、クレームを提出する方法に関する情報について、CRESSI正規公認ディーラーにご連絡ください；製品への保証適用を要請する方法についての情報が提供されます。CRESSI正規公認ディーラーに製品を返送したい場合には、輸送料が前払いされることをご確認ください。この制限保証によって提出されるクレームの有効性は、その発見からの相当の期間以内に、そして、いずれにしても、保証期間の終わりまでに、CRESSIまたは正規CRESSIサービス・センターへの申し立てられた欠陥の通知を前提としています。

どんなクレームの場合でも、この制限保証に基づいて、その人の氏名と住所、小売業者の氏名と住所を明確に示している購入の証明、日付と購入先、製品タイプの情報を提供することが必要です。この保証の下の修理の要請はCRESSIによって無料で応じられます、または、彼らの独自の裁量で、CRESSIはサービス・センターを認可し、製品は相当の期間以内に修理・交換されます。製品がこの制限保証、CRESSIまたは正規CRESSIサービスセンターの契約条件に合うとみなされないならば、サービスを及び/又は修理費用を請求する権利をお客様は保有します。

その他重要条項

製品が修理されるか、交換されるとき、それに保存されるデータと内容はなくなる可能性があります。CRESSIまたは正規サービス・センターは、製品修理・交換の間、内容またはデータの如何なる損害または損失に対しても責任を負いません。

とって代わられると、即座に、製品やそのどんな部分でも、CRESSIの資産になります。払い戻しが交付されるならば、それがCRESSIや認可されたCRESSIセンターの財産になった時点から、問題の製品は正規CRESSIサービス・センターに戻されます。

製品を修繕/交換するとき、CRESSIまたは正規CRESSIサービス・センターは 新規或いは新しく修理された製品またはパーツを使用することができます。

除外及び制限事項

1. A) 通常の衣服による製品悪化、不適当な使用(鋭い物、曲がること、圧縮、秋、ショックなどに起因する欠陥を含むがこれに限らず)C)欠陥に起因するB)欠陥または製品(CRESSI(例えば、ユーザー・マニュアルでされる指示)D)により提供される指示に従わなくなっている使用を含む)の不正使用のための損害賠償) CRESSIの管理の外でイベントに起因する欠陥;
2. 第三者によるユーザー・マニュアルまたはソフトウェア(たとえパッケージに含まれるか、CRESSIハードウェアと共に売られるとしても)、設定、内容、及びデータ。これらは、製品と共に提供されるか、ダウンロードによって得られるかどうかにかかわらず、また、施設、集会、輸送または供給プロセス、または取付、組立、輸送、或いは供給の他のステージ、又は購入者によって他の方法で購入された場合、でもカバーされません;
3. CRESSIによって製造・供給されない如何なるアクセサリ、ソフトウェアやサービスと共に製品を使う、或いは製品に接続することによって引き起こされる不具合、又は申し立てられる不具合、或いは、製品を元来意図された方法以外の方法で使用したことに起因する不具合;
4. 交換可能なバッテリー。

この制限保証は、以下の状況では無効です:

1. CRESSIまたはCRESSIサービス・センター人員以外の人によって 開封、変更、或いは修理された製品;
2. 非純正部品を使って修理された製品;
3. (たとえば) 害虫駆除剤のような化学物質にさらされた製品。

CRESSIは、製品の連続の使用またはエラーフリー動作 であるか誤りがない製品の活動を保証しません、また第三者により提供されるハードウェアまたはソフトウェアと組み合わせて製品が動く場合の保証をしません。

Cressiの法的責任の制限

この制限保証は購入者が利用できる唯一で排他的な救済手段で、曖昧さが無く明確であるか暗黙間接的であるかいずれにせよ、他のどの保証にも代わりません。

しかし、この制限保証は、適用できる国家規則により提供される権利を害しません。

CRESSIは特別な、偶発的な、懲罰的な、結果として起こる間接的な損害に対して、法的な賠償支払い義務はありません、これに限らず、期待される利益または利益の損失、貯蓄又は収入の損失、データの損失、懲罰的ダメージ、製品または関連装備の利用不成功、資金のコスト、代替装備または構造体のコスト、ダウンタイム、顧客を含む第三者によるクレーム、製品の購入・使用に起因するプロパティダメージ、ワランティ保証または契約不履行、過失、客観的責任、または他の法的課題、についても法的責任を負いません; たとえCRESSIが、そのような損害賠償の可能性を認識していたとしてもです。

この制限保証に従って提供されるサービス提供の遅れることに対して、或いは、修理/交換プロセスを受ける間、製品が使用できないことに対して、CRESSIは法的な責任がありません。

ノート: _____

CRESSI
SINCE 1946

Via G. Adamoli, 501 - 16165 GENOVA - ITALY
TEL. +39 010 830.79.1 - FAX +39 010 830.79.220
info@cressi-sub.it - www.cressi.com